

授業科目名：リサーチインターンシップ(デザイン学)

科目コード	10X476
配当学年	博士後期課程
開講年度・開講期	通年
曜時限	
講義室	
単位数	2
履修者制限	デザイン学共通科目、デザイン学領域科目の単位を取得していること。
授業形態	インターンシップ
使用言語	
担当教員 所属・職名・氏名	関係教員,

授業の概要・目的

リサーチインターンシップは、海外の研究機関の研究室に数週間から数か月滞在し、現地研究員との共同研究を通じて、デザイン学の視点から既存の学術分野を横断する境界領域において真理を探求でき、新しい研究分野において研究チームを組織してリードできる能力の涵養を目指す。そのために、国際連携のパートナーとなっている外国著名研究機関に対して、各自がインターンシップ先を探し、共同研究の提案、計画、滞在中の宿舎等についての協議を行いながら、受け入れ先研究機関を決定する。事前に研究計画書を提出し、関係教員の事前審査を受けた上でインターンシップを実施し、インターンシップ終了後にはレポートを提出し、報告会で発表することを必須とする。各自の研究成果のみならず、派遣先研究機関への貢献内容についても評価に含める。なお、海外連携大学において実施される短期集中型のスクールへの参加も対象とする。

本科目では、(1) 複数の異分野統合によるデザイン学に係る研究テーマの提案であること、(2) 海外研究機関との共同研究が計画に盛り込まれていること、の基準に基づいて、派遣先海外研究者を含む内外の審査委員のピアレビューで派遣決定を行う。派遣の決まった課題については、派遣前の研究計画審査(アセスメント)、派遣中の進捗報告(モニタリング)、そして派遣後の成果報告・評価(エバルエーション)、の3段階の評価を行う。

成績評価の方法・観点及び達成度

- ・共同研究計画の内容 5割
- ・派遣中の進捗報告 2割
- ・共同研究の成果と派遣先研究機関への貢献 3割
(教員もしくは派遣先受入教員の評価による)

到達目標

本科目は、(1) 複数の異分野統合によるデザイン学に係る研究テーマの提案であること、(2) 海外研究機関との共同研究が計画に盛り込まれていること、を基準にして派遣先での共同研究を実施するためのインターンシップである。海外研究者との共同研究を通して、外国の異文化ならびに研究領域の異分野を背景とする中での相互情報伝達のための対話力、交渉力を涵養する。さらに、自国文化ならびに自身の専門分野に根ざした確たる学識を有した上で、異文化・異分野を理解できる協調性と、個別領域の「知の相互関係」を捉えることのできる異分野横断的なビジョンを涵養する。

授業計画と内容

項目	回数	内容説明
イントロダクション	1	本科目の概要と、プロジェクトの進め方について説明する。また、知財の扱いや危機管理教育についても説明する。
実践	13	派遣申請毎に、随時インターンシップを進める。
発表会	1	学期末にはすべての派遣生が参加する報告会において、研究成果を発表する。

教科書

インターンシップで用いる資料は、適宜配布する。

その他(オフィスアワー等)

本科目での派遣を申請可能な派遣プログラム等については、随時、ホームページ等にて開示する。